

I. 研究分野

計量経済学とその応用（マクロ経済・国際金融・ファイナンス、気候変動）

II. 研究分野（英語表記）

Econometrics, Applied Macroeconomics/Financial Econometrics, International Finance, Climate Change

III. 修士課程学生の履修要件

計量経済学の基礎的な理論を理解していること（中級計量経済学で B 以上）。受講前に研究計画書を提出し、面談のうえ決定する。

IV. 選考期間および方法

受講希望者は、2026 年 4 月中旬までにメール（yohei.yamamoto[at]r.hit-u.ac.jp）で連絡すること。そのうえで、面接を行う。なお、原則として 1 年生からとするが、2 年生からの受講希望者も研究内容と進捗状況によっては受け入れる。[at]は@に読み替えて下さい。

V. 指導方針

1 年次は、教科書の輪読とプログラミングの演習を通じて、国際学術誌に掲載されている学術論文を正確に読解できる能力を身に付け、修士論文のテーマを決定する。テーマの詳細は受講者の関心に応じるが、計量経済理論、時系列データ・パネルデータ分析を用いた政策効果の分析、実証ファイナンス（国際金融を含む）、気候変動に対する人為的影響などであれば指導が可能である。

2 年次は、自分の論文作成の進捗報告を通じて、データを取得する方法、データを用いた統計的推論の能力（できれば自分でプログラムが組めるように）、結果を解釈する能力、自分の研究を他人に説明する能力を身に付ける。また、学術論文における図表の作成や引用の仕方などの論文執筆の作法を身に付ける。言語は日本語または英語のどちらでも構わない。

※AI（人工知能）技術を用いたテキスト分析や予測のファイナンスへの応用に興味を持っている学生も歓迎します。

VI. 博士後期課程学生の履修要件

上級計量経済学および、上級ミクロ経済学または上級マクロ経済学の少なくともどちらかを芳しい成績で合格していること。研究を職業とする強い意志があること。

VII. 共同開講者に関するメモ

VIII. 詳細リンク先 URL

<https://sites.google.com/site/yoheiyama/research>